

福島県立小野高等学校

令和6年度 学校経営・運営ビジョン

【校訓】 質実剛健・明朗闊達

しつじつごうけん めいろうかつたつ

— 教育目標 —

- ① 学力の育成
- ② 学び続ける力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 人間力の育成

— 本校の教育方針 —

- 1 総合学科の特色である多様な選択制と少人数構成の授業により、きめ細かな指導を開き、基礎学力の定着と系列の専門性を高めます。（個別最適化した学び）
- 2 各種行事やボランティア活動・体験活動などを通し、協調性や思いやりの心を育み、何事にも主体的に取り組むことができる生徒を育てます。（協働的な学び）
- 3 地域に根ざした教育活動や地域等を題材とした課題研究に取り組ませ、変化の激しい社会に主体的に向き合い、対応できる資質・能力の育成を図ります。（探究的な学び）
- 4 積極的な情報発信を行うとともに、学校・家庭・地域が連携・協働する開かれた体制づくりを実践します。

本校のめざす姿

社会に有為な人材の育成

生徒の進路実現

「夢をカタチに」

重点目標

基礎学力の向上

- 真剣な授業
- チャイムtoチャイムを徹底し、完全授業を実施する。
 - 研究授業を通じ、教師の教科指導力の向上を図る。

進路意識の早期高揚

- 個別指導の充実
- 個人面談、三者面談を実施する。
 - 進路目標の実現のため、個別指導を充実させる。

豊かな心の育成

- 心の育成
- コミュニケーション能力を育成し、豊かな人間関係の構築を図る。
 - 道徳教育を推進し、他者と協働して生きる力を育む。

開かれた学校づくり

- 各種団体・地域との連携
- 近隣小・中・高等学校、関連事業者等、地域の諸機関との連携を図る。
 - 授業や行事等を積極的に公開する。
 - 地域へのPR活動をする。
 - 他校種との協働学習を推進する。
 - 地域ボランティア活動に積極的に取り組ませる。
 - 友好交流校との交流事業を推進する。
 - 地域資源を生かした6次化商品開発を行う。

- 学習の習慣化
- 漢字力テストを計画的に実施する。
 - 朝自習、週末課題を充実させる。
 - 図書館利用の意識高揚を図り、読書習慣の確立や探究学習に活用できる書籍の充実を図る。
 - 基礎学力向上のため、個別指導を充実させる。
 - ICT機器を用いた情報活用能力の向上を図る。

- 進路対策の強化
- 「産業社会と人間」において、キャリアプランの深化を図る。
 - 系列の専門性を生かしながら、計画的な進路指導を進める。
 - 課外授業、模擬・検定試験への積極的な参加を促す。
 - 会社見学、上級学校見学、進路講話等を実施する。
 - 資格取得を推進する。

- 規範意識の高揚
- 時間厳守、挨拶の励行等、基本的生活習慣の確立を図る。
 - 各部の特色を生かして部活動の活性化を図り、豊かな人間性を育む。

- 環境美化
- 美化コンクールを設定し、計画的に校内の環境美化に努める。
 - 校内の学習環境の整備に努める。

- 心の安定
- 個人面談を計画的に実施し、S CやS S Wと連携を深め、教育相談体制の充実を図る。

- 情報発信
- 地域行事への参加等を通じて、生徒の取り組みを地域に発信する。
 - ホームページを活用して学習活動の様子や伝達事項について迅速に発信する。

具体的な取組内容